

令和6年度夏期文部科学省におけるキャリア実習及びインターンシップ受入計画

指導担当者役職：企画調整係

氏名：中村聖

受入課室等名	研究振興局 基礎・基盤研究課		
募集学校種	<input checked="" type="checkbox"/> 大学院 <input checked="" type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 短期大学 <input type="checkbox"/> 高等専門学校 <input type="checkbox"/> 専門学校 <input type="checkbox"/> 高等専修学校 <input type="checkbox"/> 高等学校 <input type="checkbox"/> 中学校 <input type="checkbox"/> 問わない <small>(○がマークされている部分が希望学校種となります)</small>		
受入時期	8月26日(月)	～	9月20日(金)
受入期間	3週間 ～ 4週間		受入人数 <small>(受入時期内の合計受入数)</small> 1人
選考時の面接の実施予定	予定あり <input type="checkbox"/> 予定なし <input checked="" type="checkbox"/>		
受入条件	科学技術、特に基礎科学の振興にご関心のある方。 文部科学省での最前線の業務を体験して、深く理解したいと考えている方。 Word,Excel,PowerPointなどパソコンの基本操作ができる方。 ※高等専門学校からの募集については、4～5年生の学生を対象とする。		
実習内容	基礎科学振興のために必要な取り組みを新たに企画・立案する業務を担当していただきます。 当課で担当しています、世界トップレベル研究拠点プログラム(WPI)の企画・運営や理化学研究所での組織運営等の取り組みも事例の1つとして参考にしながら、これまでにない新しい基礎研究振興に関する政策提案を幅広い視点から検討していただきます。 また、参加者の希望や関心を踏まえながら、 -素粒子科学技術及び原子核科学技術に関する業務(関連研究施設の視察、大型研究施設の老朽化・高度化に関する課題の検討等) -量子コンピュータなど最先端の量子技術の研究開発に関する業務 -数理科学と異分野の融合促進のための仕掛け検討、数理科学人材の多様なキャリアパス形成に向けた取組検討 等も実施する予定です。 ※研修では当課で実際に行っている業務を担当してもらいます。また研修期間全体を通して、様々な職員からの業務説明や意見交換の時間を設定する予定です。 ※研修最終日には、実習の成果発表を行う機会を設定する予定です。 ※具体的な実習内容については、参加者の希望等を考慮して計画しますので、興味・関心がある業務があれば、事前に記入してください。		
受入課室等紹介	基礎・基盤研究課では、我が国の基礎科学の振興に向けて様々な業務にあたっています。 例えば世界トップレベル研究拠点プログラム(WPI)の企画・運営、数理科学や素粒子・原子核物理学研究といった基礎研究の振興、量子コンピュータなど最先端の量子技術の研究開発、理化学研究所や量子科学技術研究開発機構の組織運営等に関する業務まで幅広く担当しており、日頃から研究者等とも議論を重ねながら進めています。		
受入課室等からの一言	当課業務や職員との交流を通して、今後の進路選択や就職活動の際のヒントを見つけていただければ幸いです。文部科学省での最前線の業務を経験したいという、意欲のある方の御参加をお待ちしております。		

令和6年度夏期文部科学省におけるキャリア実習及びインターンシップ受入計画

指導担当者役職：企画指導係長
氏名：水谷 啓子

受入課室等名	研究振興局大学研究基盤整備課		
募集学校種	<input checked="" type="checkbox"/> 大学院 <input checked="" type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 短期大学 <input type="checkbox"/> 高等専門学校 <input type="checkbox"/> 専門学校 <input type="checkbox"/> 高等専修学校 <input type="checkbox"/> 高等学校 <input type="checkbox"/> 中学校 <input type="checkbox"/> 問わない <small>(○がマークされている部分が希望学校種となります)</small>		
受入時期	8月19日(月)	～	9月20日(金)
受入期間	上記期間中で1人につき、原則2週間(受入は1人ずつ)		受入人数 <small>(受入時期内の合計受入数)</small> 2人
選考時の面接の実施予定	予定あり <input type="checkbox"/> 予定なし <input checked="" type="checkbox"/>		
受入条件	基本的なパソコン操作(ワード・エクセル・パワーポイント等)ができること。 学術研究行政に関する専門的な知識や技術は必要ありません。		
実習内容	【各系の業務補助】 ・大学共同利用機関、共同利用・共同研究拠点等に関する各種データの集計及び分析 ・集計、分析結果を用いた資料の作成 ・各種会議の資料準備及び傍聴、会場設営の補助 【各系の課題への施策提案】 ・今後の共同利用・共同研究体制の在り方等を含めた大学の研究力強化のための方策について		
受入課室等紹介	大学研究基盤整備課は、我が国の国力の源泉である大学における研究振興のため、研究大学の抜本的強化のための施策や、最先端の研究装置等を含めた研究活動に必要な基盤の強化に取り組んでいます。 【当課の主な業務】(以下の言葉を聞いたことがなくても問題ありません) ○大学の研究力強化に関すること ○個々の大学では整備できない大規模な施設・設備や大量のデータ・貴重な資料等を国内外の研究者が共同で利用して共同研究を行う「共同利用・共同研究体制」の強化 ○国立大学の附置研究所及び大学共同利用機関法人の教育や研究に関すること ○「すばる望遠鏡」や「ハイパーカミオカンデ計画」などの世界の学術研究を先導する大規模プロジェクトの推進 ○学術に関する研究設備に関すること ○大学ファンドに関すること 以上のとおり、当課では、分野を問わず、最先端の学術研究の推進に取り組んでいます。共同利用・共同研究の仕組みや、学術研究の大規模プロジェクトの推進は我が国の学術研究の発展のための重要な仕組みであり、ノーベル賞につながる研究成果の創出にも貢献しています。		
受入課室等からの一言	当課の業務に関心があり、意欲のある方を歓迎します。 今後の進路選択の一助になれば幸いです。		

令和6年度夏期文部科学省におけるキャリア実習及びインターンシップ受入計画

指導担当者役職：専門職
氏名：昆 雅史

受入課室等名	研究振興局 学術研究推進課			
募集学校種	<input checked="" type="checkbox"/> 大学院 <input type="checkbox"/> 高等専修学校	<input checked="" type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 高等学校	<input type="checkbox"/> 短期大学 <input type="checkbox"/> 中学校	<input type="checkbox"/> 高等専門学校 <input type="checkbox"/> 専門学校 <input type="checkbox"/> 問わない
受入時期	7月29日(月) ~ 9月20日(金)		受入人数	1人
受入期間	2週間		(受入時期内の合計受入数)	
選考時の面接の実施予定	予定あり <input type="checkbox"/> 予定なし <input checked="" type="checkbox"/>			
受入条件	特になし。(専門的な知識や技術は必要ありません。)			
実習内容	<p>【学術研究推進課の主な業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○科学研究費助成事業(以下「科研費」)の審査・交付に関する業務 ○科研費の広報に関する業務 ○科研費の制度改善に関する業務 ○創発的研究支援事業に関する企画・立案に関する業務 ○独立行政法人日本学術振興会が審査・交付を行う科研費に関する指導・助言等に関する業務など <p>インターンシップ生には、これらの業務全般について、体験できるよう計画を立てる予定です。 (近年の実績: 科研費審査会やそのほか当課関連の各種委員会の傍聴、創発の場での研究者との対談、当課関連法人における広報活動のインタビュー等)</p>			
受入課室等紹介	<p>学術研究推進課では、大学等の研究者が自由に研究を行うために必要とする「科学研究費助成事業」、挑戦的・融合的研究構想に挑戦する独立前後の研究者に研究資金と研究環境を一体的に支援する「創発的研究支援事業」に関する業務など、研究者の個人研究費を中心とした政策立案を行っています。</p>			
受入課室等からの一言	<p>大学院生、大学生いずれも可能です。 学術研究推進課の業務に関心があり、意欲のある積極的な方の参加を歓迎します。</p>			